

教育科目	自動車工学IV		教育内容	自動車の構造・性能			学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	88 コマ	単位数	11 単位
授業目標	1. ガソリンエンジンの仕組み、各装置の構造や作動について理解できる。 2. ジーゼルエンジンの仕組み、各装置の構造や作動について理解できる。 3. シャシの各装置、電装品の構造や作動について理解できる。						
授業概要	1. 自動車の各装置の構造、エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、ステアリング装置、ホイールアライメントなど基礎的な知識と共に、使用される材料、油脂、力学などの特徴を学び、2級自動車整備士に必要な専門的な知識を学ぶ。 2. 技術革新により必要とされる電子制御技術を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授						
使用 テキスト等	2級ガソリン自動車、2級ディーゼル自動車 2級ガソリン・2級ディーゼル自動車シャシ編						

教育科目	自動車整備Ⅱ		教育内容	エンジン、シャシ		学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	36 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの仕組み、各装置の構造や作動について理解できる。 2. 自動車のシャシの仕組み、各装置の構造や作動について理解できる。 3. 点検整備の方法と必要性、自己診断システムを利用した点検について理解できる。					
授業概要	1. エンジンの点検・整備や技術革新により必要とされる自己診断システムを利用した点検について学ぶ。 2. シャシの点検、整備や不具合現象から不具合箇所の診断、点検、整備について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期 回
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等	2級ガソリン自動車、2級ディーゼル自動車、 2級ガソリン・2級ディーゼル自動車シャシ編					

教育科目	自動車整備Ⅲ		教育内容	電装、故障原因探求		学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	41 コマ	単位数 5 単位
授業目標	1. ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの電装品について、各装置の構造や作動について理解する。 2. 自動車の故障探究の進め方、測定機器を利用した点検について理解できる。 3. 点検整備の方法と必要性について理解を深める。自動車の各装置の構造や作動について理解できる。					
授業概要	1. 電装品の構造、作動や各種測定機器を利用した点検、性能試験の結果から故障箇所を判定する方法について学ぶ。 2. 故障診断の方法を的確な問診、現象の確認、原因の推定及び再発の防止について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期
評価方法	小テスト、定期テスト					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等	2級ガソリン自動車、2級ディーゼル自動車、 2級ガソリン・2級ディーゼル自動車シャシ編					

教育科目	自動車検査		教育内容	自動車検査			学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	11 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 24か月定期点検の点検・検査項目、各検査項目の目的を理解できる。 2. 道路運送車両法の保安基準について理解できる。						
授業概要	1. 24か月定期点検の点検・検査項目、各検査項目の目的について学ぶ。 2. 道路運送車両法の保安基準について学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授						
使用 テキスト等	法令教材						

教育科目	自動車整備に関する法規		教育内容	法規			学科
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	11 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 道路運送車両法の自動車の検査・点検・整備の基準など自動車に関連した法規制を理解できる。						
授業概要	1. 道路運送車両法の自動車の検査・点検・整備の基準など自動車に関連した法規制を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授						
使用 テキスト等	法令教材						

教育科目	自動車整備作業Ⅳ		教育内容	エンジンの点検・分解・組立・調整・検査		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	90 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. 整備作業に対して自主性を持ち、自ら率先して整備技術の向上を図り応用力のある整備ができる。 2. エンジンの電子制御を理解する。 3. エンジンの分解、組み付けを正確にできる。 4. 安全作業に配慮し、迅速に作業ができる。					
授業概要	1. エンジンスタンド上のV型ガソリンエンジンの点検・分解・組立・調整・検査を行う。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 2 回	
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	修理書、自主作成プリント等					

教育科目	自動車整備作業V		教育内容	シャシの点検・分解・組立・調整・検査		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	106 コマ	単位数 4 単位
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オートマティックトランスミッションの電子制御を理解する。</li> <li>・シャシ部品の分解、組み付けを正確に行うことができる。</li> <li>・安全作業に配慮し、迅速に作業ができる。</li> <li>・钣金塗装の仕組みを理解する。</li> <li>・補修や塗装の基礎を習得し、作業ができる。</li> </ul>					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オートマティックトランスミッションの分解整備を行う。</li> <li>・サスペンションの脱着及び分解整備を行う。</li> <li>・エアロパーツの取り付け、钣金作業の作業概要について学ぶ。</li> </ul>					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 2 回・後期 回	
	評価方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	修理書、自主作成プリント等					

教育科目	自動車整備作業VI		教育内容	電装の点検・分解・組立・調整・検査、故障原因探求		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	110 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. 電気回路を理解し、回路図を読む事ができる。 2. 低圧電気について学び、安全作業ができる。 3. 電装品の脱着作業が、正確及び迅速にできる。 4. エンジン、シャシの電氣的故障を正確に診断し、修理することができる。 5. 故障現象から故障原因を推察することができる。					
授業概要	1. 冷暖房装置の基本構造、点検方法、故障診断 2. 充電装置の車上点検及び単体点検 3. 始動装置の車上点検及び単体点検					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 2 回	
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	修理書、自主作成プリント等					



教育科目	自動車検査作業		教育内容	自動車検査		実習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	27 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 基本的な点検整備ができる。 2. 車両法を理解し、法に添った整備ができる。 3. 点検用診断機器を使用することができる。					
授業概要	1. 検査ラインを使用した検査測定作業 2. 診断機器を使用した点検整備					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 1 回	
	評定方法 レポート、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等	法令教材、定期点検記録簿、自主作成プリント等					

教育科目	キャリアアップ講習		教育内容	日本語、自動車総合演習		教養
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2 年	開講期	前期 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 日本語能力試験 N2,N3 合格 2. 初級～上級レベルの日本語力の習得を目指す。 3. 危険物取扱者乙 4 種の習得を目指す。 4. 販売士 3 級の習得を目指す。					
授業概要	日本語能力試験 N2、N3 対策 危険物取扱者乙 4 種対策 販売士 3 級対策					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	西隈 俊哉他『パターン別ドリル日本語能力試験N 2』（アルク） 浅倉 美波他『合格できる日本語能力試験N 2』（アルク） 岡本能里子監修『日本語能力試験スーパー模試N 2』（アルク） 自主教材					

教育科目	キャリア演習Ⅱ		教育内容	キャリア演習Ⅱ・人間性と社会性Ⅱ		演習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数 1 単位
授業目標	<p>1. 就職活動を円滑に行う力を養う。</p> <p>2. マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。</p> <p>3. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。</p> <p>4. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。</p>					
授業概要	<p>社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。</p> <p>社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。</p>					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	<p>評定方法</p> <p>提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。</p>					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリント等					

教育科目	企業体験実習Ⅱ		教育内容	企業体験実習Ⅱ		教養
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	14 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 自動車の最新技術を実際に見学して学ぶとともに、集団行動に必要なルールを理解できる。					
授業概要	1. 自動車の最新技術を学ぶ。 2. インターンシップを通じて、現場での整備士の仕事について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	<b>その他</b> (レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
	評定方法 レポート					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識を具体的に教授					
使用 テキスト等						

教育科目	工業・社会Ⅱ		教育内容	企画マネジメントⅡ、総合体育、企業関連 Ⅱ 国家試験対策		教養
学 科 開講学年	自動車総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 協力、公正などの態度を育てると共に、健康の維持と体力の向上を図る。 2. 国家2級自動車整備士（ガソリン、ジーゼル）の両方の資格を取得できる。					
授業概要	1. 整備士に必要な体力や体の使い方など体育を通して学ぶ。 2. 技能コンクールで日頃の授業の成果を発揮する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1 回
	評定方法 国家試験対策テスト、レポート等					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する  学習発表会Ⅱ、地域研究、国家試験対策において自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等						